

# 「COVID-19の影響下にある今年度教育実習・介護等体験の見通しに関する調査」結果概要について

一般社団法人全国私立大学教職課程協会

8月の文部科学省通知により今年度教育実習・介護等体験の実施の方向性が明らかになりましたが、同時に特例措置・代替措置の実施等新たな課題も出てきました。そこで協会としては6月のオンラインシンポジウムに続く情報共有と今後の課題の明確化を図る目的で加盟校に標記調査を実施しました。

以下にその結果概要をお知らせします。

調査対象：全国私立大学教職課程協会に加盟する426大学

調査方法：WEB回答による調査

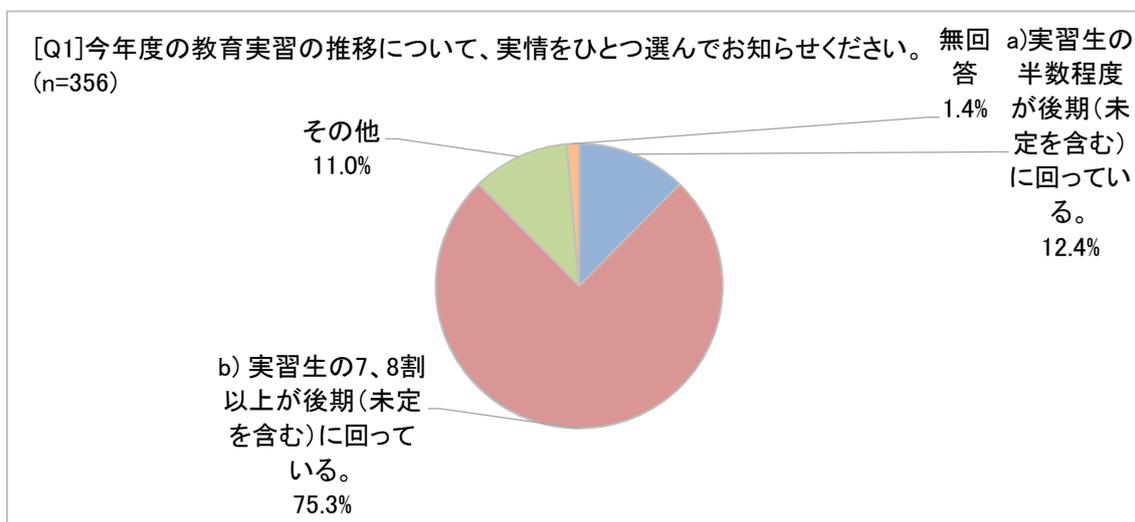
調査時期：令和2年9月12日～令和2年10月7日

回答校数（回収率）：356校/426校（83.5%）

## 調査結果（質問別）

### 1. 今年度の教育実習の推移についての実情

○268校（75.3%）の大学が、「実習生の7、8割以上が後期（未定含む）に回っている」と回答し、44校（12.4%）の大学が、「実習生の半数程度が後期（未定含む）に回っている」と回答した。



### 2. 今年度の教育実習の期間の短縮を求められている状況（複数回答）

○259校（72.8%）の大学が「1週間の短縮」、87校（24.4%）の大学が「2週間の短縮」を求められていると回答した。

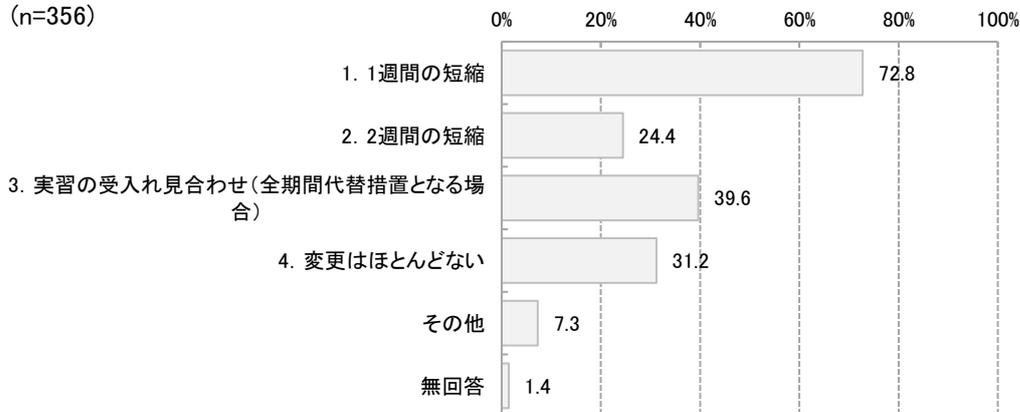
○141校（39.6%）の大学が「実習の受け入れ見合わせを求められている」と回答した。

○111校（31.2%）の大学が「変更はほとんどない」と回答した。

[Q2]今年度の教育実習について、期間の短縮を求められている状況についてお知らせください。

変更事例のうち、貴大学に生じている事例について、すべて選んでください。

(n=356)



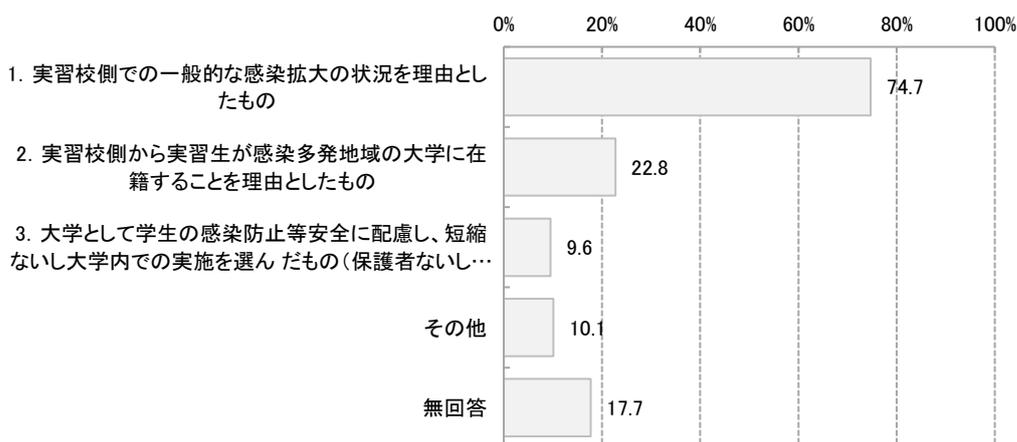
### 3. 期間の短縮を求められている理由(複数回答)

○266校(74.7%)の大学が「実習校側での一般的な感染拡大の状況を理由としたもの」と回答していた。

○81校(22.8%)の大学が「実習校側から実習生が感染多発地域の大学に在籍することを理由としたもの」と回答していた。

[Q3]Q2の選択肢1. 2. 3が生じている理由をすべて選んでください。

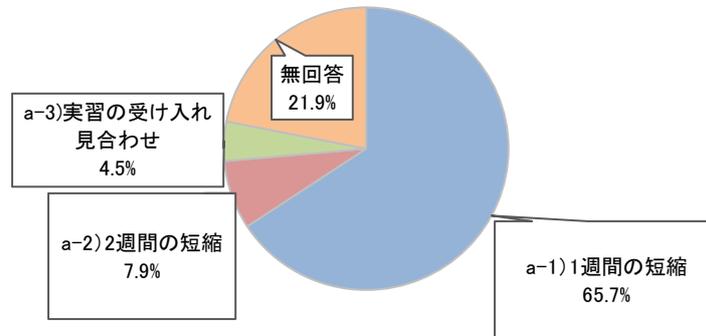
(n=356)



### 4. 期間の短縮を求められた状況のうち多い事例

○最も多かった状況は「1週間の短縮」が234校(65.7%)、次いで「2週間の短縮」が28校(7.9%)という回答であった。

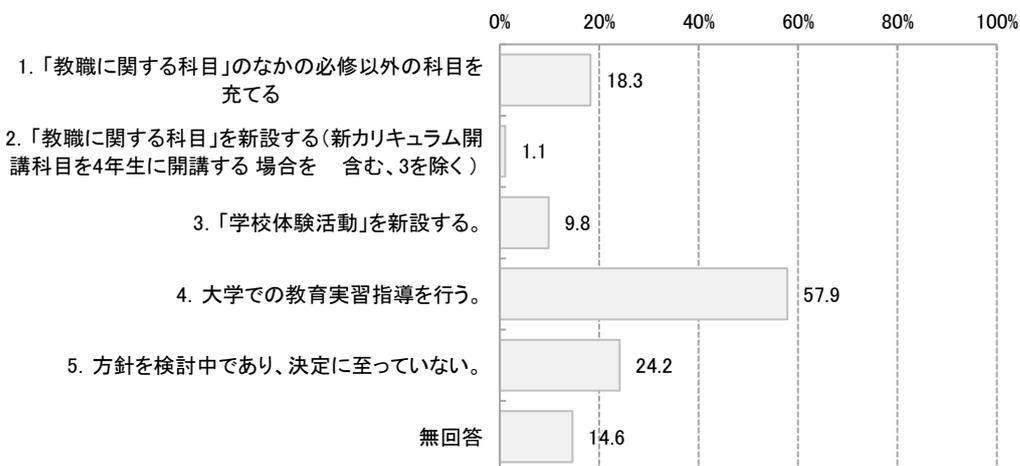
[Q4]Q2の選択肢1. 2. 3を選んだうち、もっとも多い事例はどれになりますか。  
(n=356)



#### 5. 期間の短縮や受け入れ見合わせの場合の補う方法(複数回答)

○最も多かった回答は「大学での教育実習指導を行う」で206校(57.9%)、次いで「方針を検討中であり、決定に至っていない。」が86校(24.2%)であった。

[Q5]期間の短縮ないし受け入れ見合わせの場合、補う方法はどのようなものですか。該当するものをいくつでもお答えください。  
(n=356)



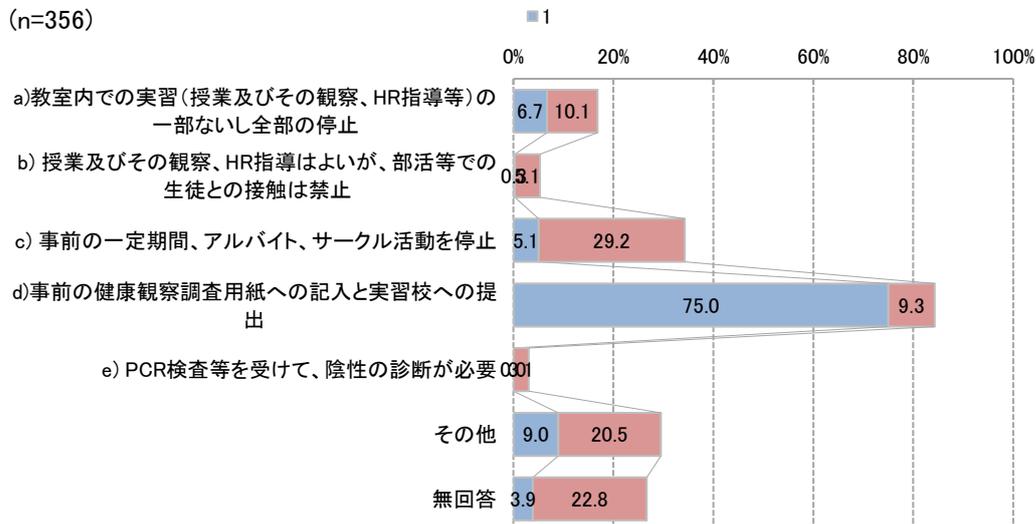
#### 6. 実習校から求められている教育実習の受け入れ条件(上位2項目を回答)

○上位1項目で最も多かったのは「事前の健康観察調査用紙への記入と実習校への提出」で267校(75%)であった。

○次いで「事前の一定期間、アルバイト、サークル活動を停止」を104校(29.2%)が上位2項目に回答し、全体としてもその2項目が上位であった。

[Q8]教育実習の受け入れ条件として、実習校から求められているもののうち、件数が上位2つをお知らせください。

(n=356)



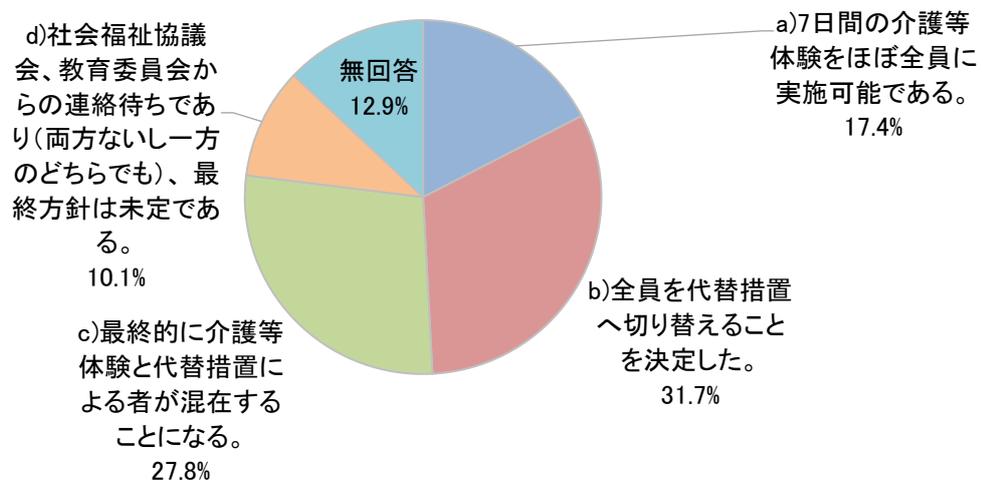
### 7. 今年度の介護等体験の推移についての実情

○113校(31.7%)の大学が「全員を代替措置へ切り替えることと決定した」と回答した。

○次いで「最終的に介護等体験と代替措置による者が混在することになる」で99校(27.8%)、「7日間の介護等体験をほぼ全員に実施可能である」62校(17.4%)であった。

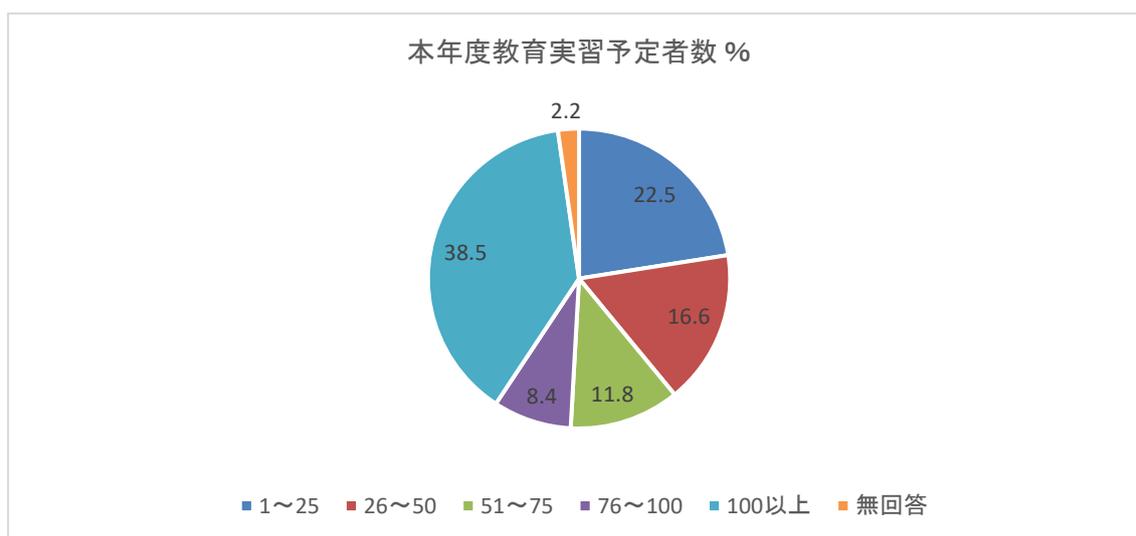
[Q10]今年度の介護等体験の推移について、実情をひとつ選んでお知らせください。

(n=356)



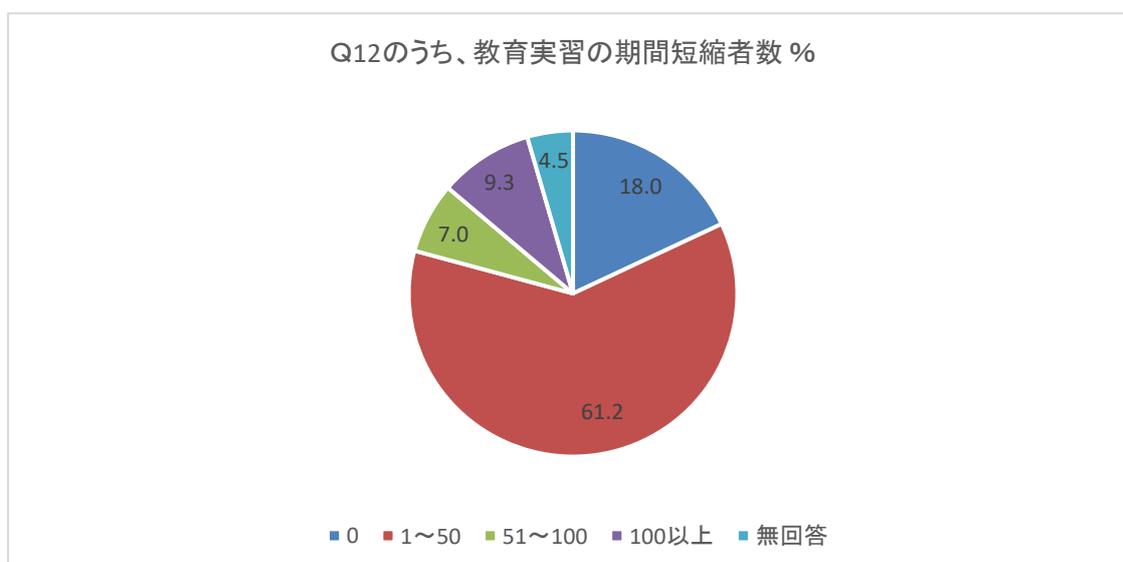
## 8. 本年度教育実習予定者数

- 本年度 137 校（38.5%）の大学が「100 人以上」教育実習を予定していると回答し最も多かった。
- 次いで多かったのは、「1～25 人」で 80 校（22.5%）であった。
- 回答から本年度の教育実習予定者数は約 22,000 人以上であることがわかった。



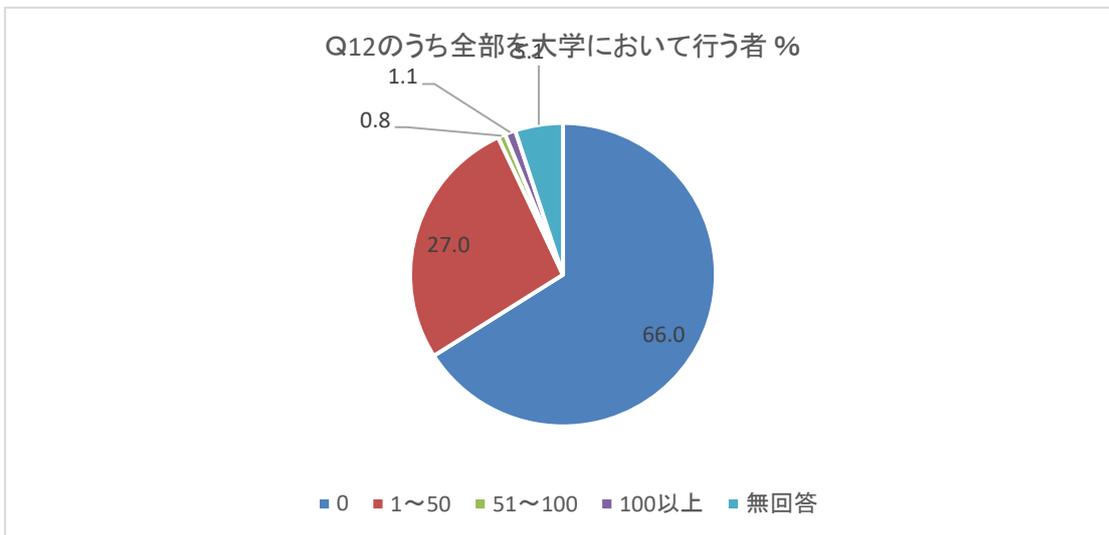
## 9. 本年度の教育実習予定者の期間短縮者数

- 期間短縮者数を「0」と回答した大学は 64 校（18%）あり、「1～50 人」以下の大学が 218 校（61.2%）であった。
- 「100 人以上」と回答した大学は 33 校（9.3%）あった。
- 回答から本年度教育実習予定者のうち期間短縮者数は約 7,800 人以上であることがわかった。



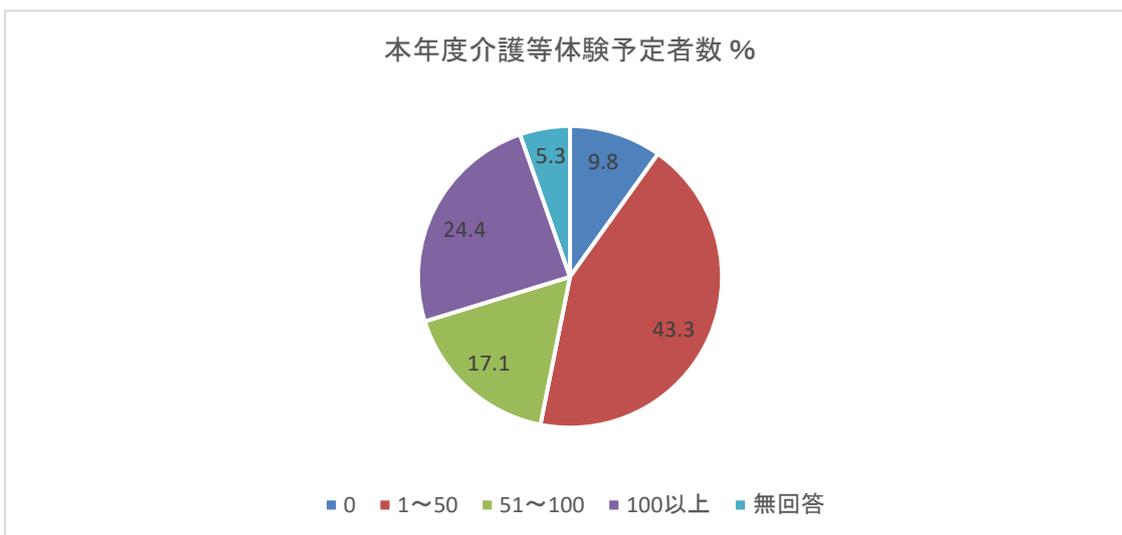
### 10. 教育実習の全部を大学において行う実習予定者数

- 235校（66%）の大学が「0」と回答した。
- 回答から本年度教育実習予定者のうち、全部を大学において行う実習予定者数は約1,000人以上であることがわかった。



### 11. 本年度介護等体験予定者数

- 「0」と回答した大学は35校（9.8%）あり「50人」以下の大学は154校（43.3%）であった。また「100人以上」と回答した大学は87校（24.4%）あった。
- 回答から本年度介護等体験予定者数は約16,500人以上であることがわかった。

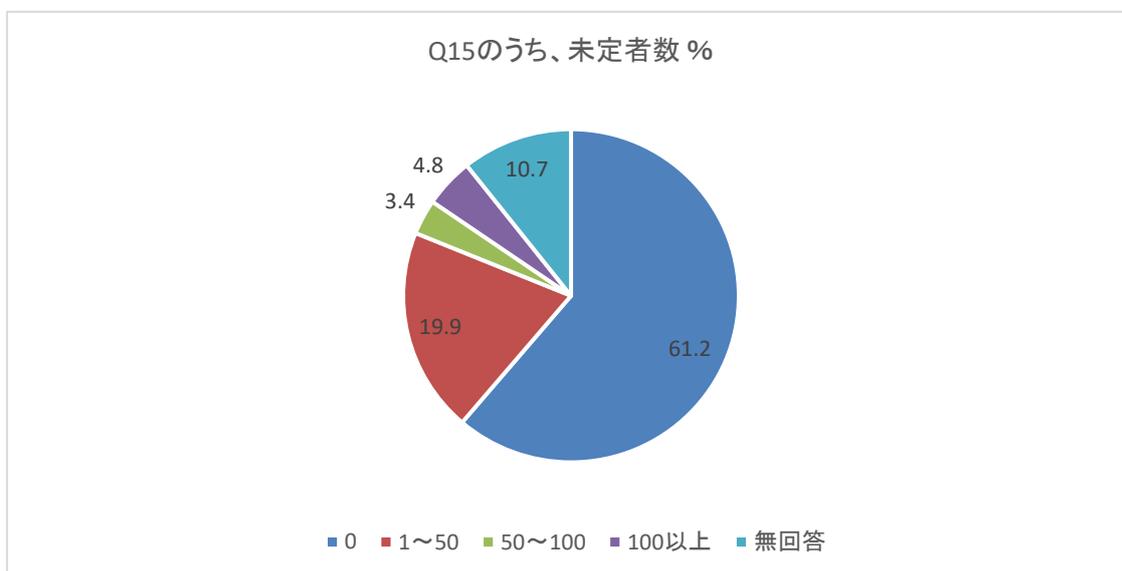


### 12. 本年度介護等体験予定者のうち未定者数

- 218校（61.2%）の大学が「0」と回答し、「50人」以下の大学は71校（19.9%）あ

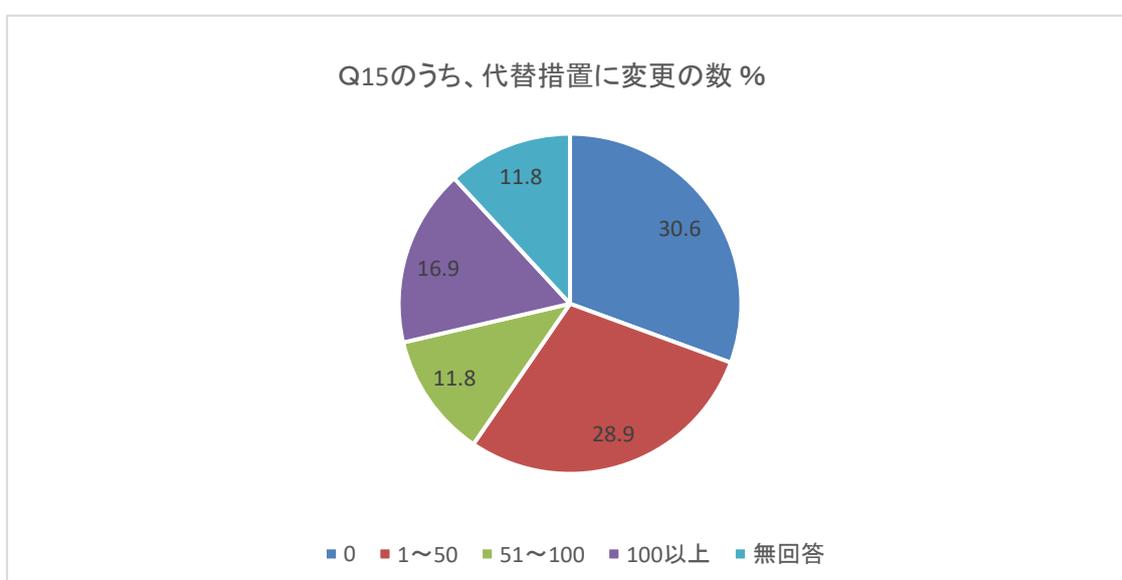
た。

- 回答から本年度介護等体験予定者のうち未定者数は約 3,600 人以上であることがわかった。



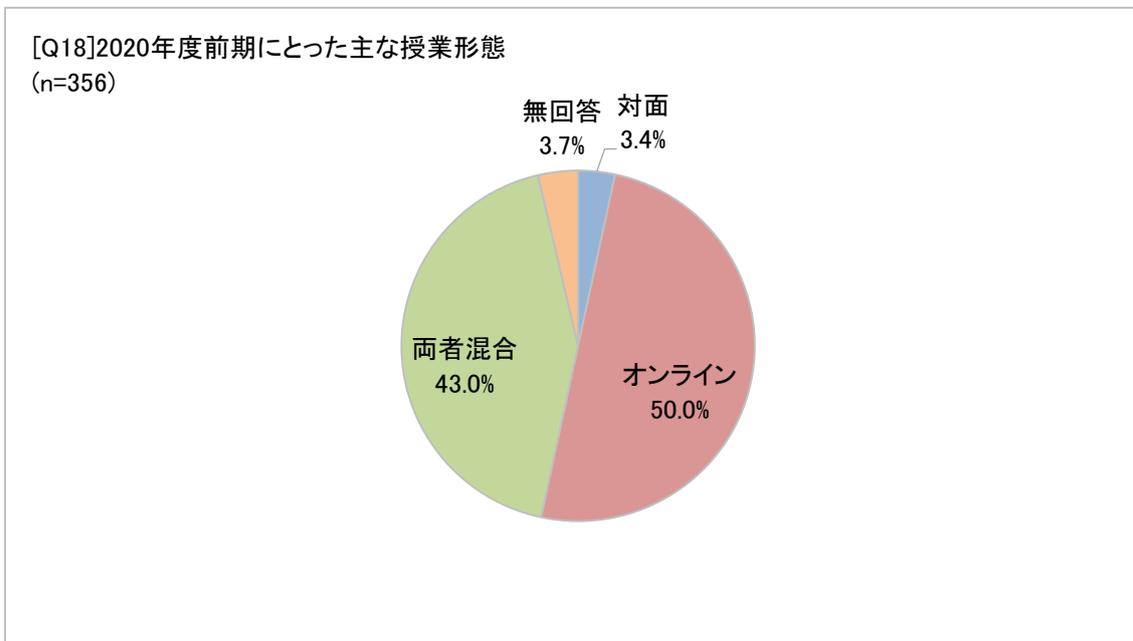
### 13. 本年度介護等体験予定者のうち代替措置数

- 「0」と回答した大学が 109 校 (30.6%) で最も多く、「100 人以上」と回答した大学も 60 校 (16.9%) あった
- 回答から本年度介護等体験予定者のうち代替措置に変更した数は約 11,300 人以上であることがわかった。



#### 14. 2020年度前期にとつた主な授業形態

○「オンライン」が178校（50%）で最も多く、次いで「対面とオンラインの混合」が153校（43%）であった。



#### 参考

本調査で回答があった356校の大学所在地区割合は以下の通りである。

